(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7626348号
(P7626348)

(45)発行日　令和7年2月4日(2025.2.4)

(24)登録日　令和7年1月27日(2025.1.27)

(51)国際特許分類		FI		
Ａ４１Ｃ	*3/00 (2006.01)*	Ａ４１Ｃ	3/00	Ｚ
Ａ４１Ｃ	*3/12 (2006.01)*	Ａ４１Ｃ	3/12	Ｄ
		Ａ４１Ｃ	3/12	Ｅ
		Ａ４１Ｃ	3/12	Ｚ

請求項の数　6　（全16頁）

(21)出願番号　特願2023-15460(P2023-15460)
(22)出願日　令和5年2月3日(2023.2.3)
(65)公開番号　特開2024-110713(P2024-110713A)
(43)公開日　令和6年8月16日(2024.8.16)
審査請求日　令和5年6月5日(2023.6.5)
審判番号　不服2024-10968(P2024-10968/J1)
審判請求日　令和6年7月2日(2024.7.2)
早期審理対象出願

(73)特許権者　517217232
クロステクノロジーラボ株式会社
福島県会津若松市町北町大字上荒久田字宮下１３３番地の１
(74)代理人　230116816
弁護士　成川 弘樹
(74)代理人　100174850
弁理士　大崎 絵美
(72)発明者　藤井 久美子
福島県会津若松市町北町大字上荒久田字宮下１３３番地の１ クロステクノロジーラボ株式会社内
(72)発明者　米良 結
福島県会津若松市町北町大字上荒久田字宮下１３３番地の１ クロステクノロジ
最終頁に続く

(54)【発明の名称】　胸部を覆う衣類

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
胸部を覆うフロント部と、
前記フロント部の脇端に背側から接続するバック部と、
前記フロント部の上端に接続し、肩の稜線を越えて背側で前記バック部の上端に接続する左右一対の肩ストラップ部と、
を有する本体部と、
前記本体部の外面側に位置し、左乳房の脇側及び上側から左乳房を覆い右脇部へと延びる、着脱自在な連結部を有さない第１固定部と、
前記本体部の外面側に位置し、右乳房の脇側及び上側から右乳房を覆い左脇部へと延びる、着脱自在な連結部を有さない第２固定部と、
を備え、
前記フロント部は、右乳房及び左乳房を一体のパーツで覆うものであり、表布と裏布を有し、左右一対のカップ部が外面側から見えない構造になっていることを特徴とする、運動に伴う乳房の揺れを軽減する胸部を覆う衣類。
【請求項２】
前記第１固定部は、少なくとも前記本体部の左脇部及び左肩ストラップ部の前端に接続しており、
前記第２固定部は、少なくとも前記本体部の右脇部及び右肩ストラップ部の前端に接続しているることを特徴とする、請求項１に記載の胸部を覆う衣類。

【請求項３】
前記第１固定部は、少なくとも右乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で前記本体部に接続しており、
前記第２固定部は、少なくとも左乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で前記本体部に接続していることを特徴とする、請求項１又は２に記載の胸部を覆う衣類。
【請求項４】
前記第１固定部は、当該第１固定部の長さを調節するための第１アジャスター部を有し、
前記第２固定部は、当該第２固定部の長さを調節するための第２アジャスター部を有することを特徴とする、請求項１に記載の胸部を覆う衣類。
【請求項５】
前記第１アジャスター部は、前記本体部の中央より右側に位置し、
前記第２アジャスター部は、前記本体部の中央より左側に位置することを特徴とする、請求項４に記載の胸部を覆う衣類。
【請求項６】
胸部を覆うフロント部と、
前記フロント部の脇端に背側から接続するバック部と、
前記フロント部の上端に接続し、肩の稜線を越えて背側で前記バック部の上端に接続する左右一対の肩ストラップ部と、
を有する本体部と、
前記本体部の外面側に位置し、左乳房の脇側及び上側から左乳房を覆い右脇部へと延びる、着脱自在な連結部を有さない第１固定部と、
前記本体部の外面側に位置し、右乳房の脇側及び上側から右乳房を覆い左脇部へと延びる、着脱自在な連結部を有さない第２固定部と、
を備え、
前記フロント部は、右乳房及び左乳房を一体のパーツで覆うものであり、
前記第１固定部は、当該第１固定部の長さを調節するためのアジャスター部を有さず、
前記第２固定部は、当該第２固定部の長さを調節するためのアジャスター部を有さないことを特徴とする、胸部を覆う衣類。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、胸部を覆う衣類に関する。
【背景技術】
【０００２】
ジャンプやランニング等の動作時、ブラジャーを着用していても、乳房が大きく揺れる場合が多い。特にスポーツ等の激しい動作の場合には、その揺れは非常に大きくなり、不快感だけでなく乳房の下垂の原因にもなる。そのため、従来、このような揺れを軽減する様々なブラジャーが開発されてきた。例えば、特許文献１には、横方向に並ぶ２つのカップのバストトップ位置よりも上方で且つブラジャー周長の１／２以上の長さに亘る領域において、補強部を本体部に積層することにより、運動時の胸の上下動及び左右動さらには前後動を抑えることができるブラジャーが記載されている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【文献】特開２０１６－１８６１４２号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、特許文献１は、バストトップ位置よりも上方に補強部を設けた構造であるため、カップサイズが大きい場合には乳房の揺れの軽減効果が良好に得られると考えら

れる一方、カップサイズが小さい場合や乳房の形状によっては運動時の上部への移動量が少ないため、乳房の揺れの軽減効果が小さくなると考えられる。

【０００５】

したがって、本発明は、乳房のサイズや形状に関わらず効果的に乳房の揺れの軽減効果を発揮することができる胸部を覆う衣類を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

上記の課題を解決するために、本発明に係る胸部を覆う衣類は、

胸部を覆うフロント部と、

前記フロント部の脇端に背側から接続するバック部と、

前記フロント部の上端に接続し、肩の稜線を越えて背側で前記バック部の上端に接続する左右一対の肩ストラップ部と、

を有する本体部と、

前記本体部の外面側に位置し、左乳房の脇側及び上側から左乳房を覆い右脇部へと延びる第１固定部と、

前記本体部の外面側に位置し、右乳房の脇側及び上側から右乳房を覆い左脇部へと延びる第２固定部と、

を備える。

【０００７】

一態様において、前記第１固定部は、少なくとも前記本体部の左脇部及び左肩ストラップ部の前端に接続しており、前記第２固定部は、少なくとも前記本体部の右脇部及び右肩ストラップ部の前端に接続している。

【０００８】

一態様において、前記第１固定部は、少なくとも右乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で前記本体部に接続しており、前記第２固定部は、少なくとも左乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で前記本体部に接続している。

【０００９】

一態様において、前記第１固定部は、当該第１固定部の長さを調節するための第１アジャスター部を有し、前記第２固定部は、当該第２固定部の長さを調節するための第２アジャスター部を有する。

【００１０】

一態様において、前記第１アジャスター部は、前記本体部の中央より右側に位置し、前記第２アジャスター部は、前記本体部の中央より左側に位置する。

【発明の効果】

【００１１】

本発明によれば、乳房のサイズや形状に関わらず効果的に乳房の揺れの軽減効果を発揮することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

【図１】本発明の一実施形態に係るブラジャーの正面図である。

【図２】本発明の一実施形態に係るブラジャーの背面図（ａ）、及び、本発明の一実施形態に係るブラジャーの下辺ゴムの長さ調節機構を説明する図（ｂ）である。なお、背面側から見えるブラジャーの前面側の構造の図示は省略している。

【図３】本発明の一実施形態に係るブラジャーのフロント部の右半分を裏側から見た図である。

【図４】本発明の一実施形態に係るブラジャーの第１固定部を説明する図である。

【図５】本発明の一実施形態に係るブラジャーの第１固定部の第１アジャスター部を説明する図である。

【図６】本発明の一実施形態に係るブラジャーの第１固定部の第１アジャスター部を説明する図である。

【図７】本発明の一実施形態に係るブラジャーの変形例を示す正面図（ａ）、及び、背面図（ｂ）である。なお、（ｂ）において、背面側から見えるブラジャーの前面側の構造の図示は省略している。
【図８】本発明の一実施形態に係るブラジャーの別の変形例を示す背面図である。なお、背面側から見えるブラジャーの前面側の構造の図示は省略している。
【発明を実施するための形態】
【００１３】
以下、本発明の一実施形態に係る胸部を覆う衣類について、図面を参照しながら説明する。
【００１４】
なお、本発明の一実施形態において上下左右等の方向は、特別な説明がない限り、胸部を覆う衣類を着用者が着用した状態を基準に説明する。また右左の方向は、着用者から見た方向を基準に説明する。本発明の一実施形態において、着用者から見て右側の部分の符号の末尾にＲが、左側の部分の符号の末尾にＬがつくが、左右一対の部分について説明する際は、ＬまたはＲがつかない場合がある。
【００１５】
図１～図６は、本発明の一実施形態に係る胸部を覆う衣類の一例を示す図である。この一例では、胸部を覆う衣類はブラジャーである。胸部を覆う衣類は、胸部の肌にフィットして着用する衣類であればどのようなものでもよく、ブラジャーのほか、水着、レオタード、ボディスーツ、カップ付きトップスなどにも同様に適用することができる。また、ブラジャー１は、スポーツ等における激しい動きに伴う乳房の揺れを軽減することが可能であり、スポーツ用ブラジャーとして好適であるが、スポーツ時に限らず、日常生活で着用されてもよい。
【００１６】
図１は、本発明の一実施形態に係るブラジャー１の正面図である。図２の（ａ）は、本発明の一実施形態に係るブラジャー１の背面図である。なお、背面側から見えるブラジャー１の前面側の構造の図示は省略している。ブラジャー１は、図１及び図２の（ａ）に示すように、本体部２と、第１固定部７と、第２固定部８とを備える。
【００１７】
（本体部２）
本体部２は、フロント部３と、バック部４と、左右一対の肩ストラップ部５（右肩ストラップ部５Ｒ，左肩ストラップ部５Ｌ）と、下辺ゴム部６とを有する。
【００１８】
フロント部３は、着用者の上半身の前面に配設され、両乳房を含む胸部を覆う。フロント部３は、上端で肩ストラップ部５に接続し、下端で下辺ゴム部６に接続し、左右の脇端でバック部４に接続する。
【００１９】
バック部４は、着用者の上半身の背面に配設される。バック部４は、フロント部３の脇端に背側から接続する。バック部４は、上端で肩ストラップ部５に接続し、下端で下辺ゴム部６に接続し、左右の脇端でフロント部３に接続する。本実施形態においてバック部４は、着用者の左右脇前方まで延伸して、左右脇前方でフロント部３に接続する。バック部４は、右脇側でフロント部３に接続する右脇サポート部４Ｒと、左脇側でフロント部３に接続する左脇サポート部４Ｌと、右脇サポート部４Ｒ及び左脇サポート部４Ｌに接続するバックサポート部４Ａとから構成される。
【００２０】
右肩ストラップ部５Ｒは、着用者の右肩の稜線を前後に跨いで配設される。右肩ストラップ部５Ｒは、フロント部３の上端に接続し、肩の稜線を越えて背側でバック部４の上端に接続する。
【００２１】
左肩ストラップ部５Ｌは、着用者の左肩の稜線を前後に跨いで配設される。左肩ストラ

ップ部５Ｌは、フロント部３の上端に接続し、肩の稜線を越えて背側でバック部４の上端に接続する。

【００２２】

下辺ゴム部６は、着用者の胴体に周方向に配設される。下辺ゴム部６は、フロント部３の下端及びバック部４の下端に接続する。

【００２３】

フロント部３、バック部４及び右肩ストラップ部５Ｒの腕ぐりにおいて、右腕ぐり部２１Ｒが形成されている。フロント部３、バック部４及び左肩ストラップ部５Ｌの腕ぐりにおいて、左腕ぐり部２１Ｌが形成されている。また、フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌの襟ぐりにおいて、襟ぐり部２２が形成されている。また、バック部４は下端の一部に切欠き部２３が形成されている。右腕ぐり部２１Ｒ、左腕ぐり部２１Ｌ、襟ぐり部２２及び切欠き部２３は、それぞれ、テープ部材で形成され、フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌの端を包む。

【００２４】

フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ、左肩ストラップ部５Ｌ及び下辺ゴム部６は、各接続部において互いに縫着されている。バック部４において、右脇サポート部４ＲとバックサポートＡ部４Ａ、及び、左脇サポート部４ＬとバックサポートＡ部４Ａは、各接続部において互いに縫着されている。

【００２５】

（フロント部３）

フロント部３は、着用者の左右の乳房を含む胸部を覆う位置に形成される。具体的には、フロント部３の下端は、乳房の下側の立ち上がりに対応する位置又はそれよりも若干下側の位置（例えば２ｃｍ以内）に形成される。フロント部３の上端は、乳房の上側の立ち上がりに対応する位置又はそれよりも上側の位置に形成される。フロント部３の左右端（脇端）は、乳房の脇側の立ち上がりに対応する位置に形成される。なお、乳房の立ち上がりは、乳房（胸部の膨らみ部分）の輪郭であり、ヌード時、又は、乳房を上方に持ち上げ、若しくは、乳房を前中心側に寄せた際の輪郭である。フロント部３の上端は、肩の稜線より下の位置（例えば、鎖骨に対応する位置を通る水平線近傍）に形成され、左右一対の肩ストラップ部５に接続する。

【００２６】

フロント部３は、表布と裏布から構成される。フロント部３の表布は、１枚の生地で形成される。フロント部３の表布には、例えば、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。図３は、フロント部３の右半分を裏側から見た図であり、着用者の肌に触れる面（内面）が示されている。フロント部３の裏布は、図３に示すように複数の生地で形成される。左半分も右半分と同様の構造である。

【００２７】

フロント部３は、内面側において、左右一対のカップ部３１（右カップ部３１Ｒ，左カップ部３１Ｌ（図示せず））を有する。カップ部３１は、着用時においてそれぞれ左右の乳房を立体的に覆い、側面視および上面視において釣鐘形状を有する。カップ部３１は、下端縁部がバージスラインに沿う形状である。カップ部３１は、保形性を有し、着用者の乳房を収容することで乳房のシルエットを整える。カップ部３１は、乳房のバージスラインを上方に持ち上げるように形成されることが好ましい。カップ部３１により乳房を持ち上げることによって、静止時において乳頭位置が高くなる。この状態から運動をした場合、カップ部３１がヌード時のバージスラインに沿う場合と比べて、乳房が上方向に揺さぶられる揺れ幅が少なくなり、乳房の揺れが軽減される。カップ部３１は、例えば、ウレタン等をモールド成形することにより形成される。なお、カップ部３１は、これに限らず、例えば、保形性の高い生地を縫い合わせて釣鐘形状に形成されてもよい。あるいは、カップ部３１は、パッドを挿入する形態のものであってもよい。カップ部３１は、バージスラ

インにワイヤーを装着しないノンワイヤータイプであってもよいし、ワイヤーを装着したワイヤータイプであってもよい。カップ部３１の端縁部は、フロント部３の裏布を構成する他の布の端縁部に縫着されている。フロント部３の裏布を構成する他の布には、例えば、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。なお、図３はフロント部３の裏側の一例であり、これに限られず、自由に構成することができる。

【００２８】

（バック部４）

バック部４は、着用者の胴周において左右の乳房の立ち上がりの外側に形成される。バック部４の下端は、着用者の胴周においてフロント部３の下端と水平な位置に形成される。バック部４の上端は、肩の稜線より下の位置に形成され、左右一対の肩ストラップ部５に接続する。バック部４の左右端（脇端）は、乳房の脇側の立ち上がりに対応する位置に形成される。

【００２９】

バック部４は、フロント部３と一体となって、着用者の胴体にフィットして巻き付け、ブラジャー１、特にフロント部３のずれを防ぐ。

【００３０】

バック部４は、右脇サポート部４Ｒと、左脇サポート部４Ｌと、バックサポート部４Ａとから構成される。フロント部３と右脇サポート部４Ｒとが、接続部５１において接続する。右脇サポート部４Ｒとバックサポート部４Ａとが、接続部５２において接続する。バックサポート部４Ａと左脇サポート部４Ｌとが、接続部５３において接続する。左脇サポート部４Ｌとフロント部３とが、接続部５４において接続する。接続部５１及び接続部５４は、乳房の脇側の立ち上がりに対応する位置（脇部の前面端）に配設される。接続部５２及び接続部５３は、脇部の背面端に配設される。

【００３１】

右脇サポート部４Ｒ及び左脇サポート部４Ｌは、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。右脇サポート部４Ｒ及び左脇サポート部４Ｌの布には、例えば、乳房の横流れを防止するために、キックバックの強い幅広の素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。

【００３２】

バックサポート部４Ａは、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。バックサポート部４Ａの布には、例えば、通気性を高めるために、メッシュ素材（例えば、パワーネット等）が用いられる。

【００３３】

（肩ストラップ部５）

肩ストラップ部５は、肩の稜線を前後に跨いでフロント部３とバック部４とに接続する。これにより、肩ストラップ部５は、ブラジャー１、特にフロント部３のずれを防ぐ。

【００３４】

肩ストラップ部５の前端は、フロント部３の上端と同じ位置に形成される。右肩ストラップ部５Ｒとフロント部３とが、接続部５５において接続する。左肩ストラップ部５Ｌとフロント部３とが、接続部５６において接続する。肩ストラップ部５の後端は、バック部４の上端と同じ位置に形成される。右肩ストラップ部５Ｒとバック部４のバックサポート部４Ａとが、接続部５７において接続する。左肩ストラップ部５Ｌとバック部４のバックサポート部４Ａとが、接続部５８において接続する。

【００３５】

肩ストラップ部５は、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。肩ストラップ部５の布には、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。

【００３６】

（下辺ゴム部６）

下辺ゴム部６は、着用者の胴体に強い力で巻き付け、ブラジャー１のずれを防ぐ。下辺ゴム部６は、例えば、ゴム等のテープ状の長尺部材で形成される。下辺ゴム部６は、端部に長さ調節機構６１を備える。長さ調節機構６１は、例えば、ホックであり、図２の（ｂ）に示すように、左端部６１Ｌの表側に複数の長さ位置に輪が設けられ、右端部６１Ｒの肌側に係止部が設けられており、係止部を任意の長さ位置の輪に引っかけることにより、下辺ゴム部６の左右端を着脱可能に接続する。なお、長さ調節機構６１は、これに限らず、例えば、ピン、スナップ、面ファスナー、紐、ボタンとボタン穴等であってもよい。長さ調節機構６１を備えることにより、着用者の胴周のサイズに対応した下辺ゴム部６の周長の調節が可能となる。また、左右の端部どうしを接続させない状態でブラジャー１を着脱することにより、ブラジャー１を楽に着脱することができる。また、左右の端部どうしを接続させない状態でブラジャー１を着脱することにより、ブラジャー１の着脱時における下辺ゴム部６の伸びを防ぐことができるため、劣化を防ぎ、下辺ゴム部６によるブラジャー１のずれ防止効果を長く維持することができる。

【００３７】

バック部４の下端の一部に切欠き部２３が形成されているため、バック部４の布が撚れることなく長さ調節機構６１による調節を行うことができる。

【００３８】

なお、下辺ゴム部６は、長さ調節機構６１に代えて、長さ調節機能を有さない係合部を有していてもよい。あるいは、下辺ゴム部６は、係合部を有さず、端部のない一体のテープ状の部材であってもよい。また、ブラジャー１は、下辺ゴム部６を備えていなくてもよい。

【００３９】

（第１固定部７）

第１固定部７は、本体部２の外面側に位置し、左乳房の脇側及び上側から左乳房を覆い右脇部へと延びる。

【００４０】

第１固定部７は、本体部２の左脇部に接続する。具体的には、第１固定部７の左脇端は、フロント部３とバック部４の左脇サポート部４Ｌとが接続する接続部５４において、本体部２に接続する。第１固定部７は、左肩ストラップ部５Ｌの前端に接続する。具体的には、第１固定部７の上端は、フロント部３と左肩ストラップ部５Ｌとが接続する接続部５６において、左肩ストラップ部５Ｌの前端に接続する。第１固定部７は、右乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で本体部２に接続する。具体的には、図２の例においては、第１固定部７の右脇端は、右脇サポート部４Ｒとバックサポート部４Ａとが接続する接続部５２において、本体部２に接続する。第１固定部７は、フロント部３の腕ぐりに形成される左腕ぐり部２１Ｌの端と接続してもよいし、接続しなくてもよい。接続しない場合には、着用時に左腕ぐり部２１Ｌにおいて第１固定部７が遊離するため、乳房のサイズが大きい場合に生じ得る圧迫感を低減することができる。これらの接続は、例えば、縫着である。第１固定部７の左脇端、上端、右脇端（及び左腕ぐり端）以外の端辺は、本体部２とは接続しておらず、遊離している。第１固定部７の下端は、フロント部３の下端近傍に位置する。

【００４１】

図４は、第１固定部７を説明する図である。第１固定部７は、図４に示すとおり、固定本体部７Ａとアジャスター部（第１アジャスター部）７Ｂとを有する。アジャスター部７Ｂは、第１固定部７の長さを調節するための部材である。第１固定部７の長さは、例えば、上端から右脇端までの長さである。固定本体部７Ａは左乳房の脇側及び上側に位置し、アジャスター部７Ｂは右脇部側に位置する。

【００４２】

固定本体部７Ａは、幅広の部材で形成され、左乳房を覆う。固定本体部７Ａは、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。固定本体部７Ａの布には、例えば、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例

えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。
【００４３】
アジャスター部７Ｂは、例えば、ゴム等のテープ状の長尺部材で形成される。アジャスター部７Ｂは、好ましくは本体部２の中央より右側に位置する。これにより、固定本体部７Ａで左乳房をしっかりと固定しつつ、右脇部付近で長さの調節を行うことができる。なお、アジャスター部７Ｂは、乳房の一部を覆ってもよい。
【００４４】
図５は、第１固定部７のアジャスター部７Ｂを説明する図であり、第１固定部７を裏側から見た拡大図である。図５に示すように、固定本体部７Ａとアジャスター部７Ｂとの間にリング部材７１が設けられており、アジャスター部７Ｂの両端の間に調節部材７２が設けられている。アジャスター部７Ｂにおける調節部材７２の位置を着用者が調節することによって、アジャスター部７Ｂの長さを調節することができ、これにより、第１固定部７の長さを調節することができる。
【００４５】
図６は、第１固定部７のアジャスター部７Ｂを説明する図であり、図２において点線で囲んだ部分の拡大図である。図６に示すように、バック部４の右脇サポート部４Ｒに、上端から下端にかけて長尺のテープ部材７３が設けられている。テープ部材７３は、各端辺が右脇サポート部４Ｒに縫着された縫着部７３Ａと、下端及び上端のみが右脇サポート部４Ｒに縫着され左右端が遊離した遊離部７３Ｂとからなる。アジャスター部７Ｂは、遊離部７３Ｂを貫通して配設される。テープ部材７３が存在することにより、着用時におけるアジャスター部７Ｂの上下方向の位置の変位量が小さくなるため、第１固定部７による固定機能の低下を防ぐことができる。遊離部７３Ｂは、調節部材７２が通過可能な大きさとなっており、着用時には着用者のサイズに応じた位置（例えば、遊離部７３Ｂよりも前面側又は背面側）に調節部材７２を移動することができる。
【００４６】
第１固定部７は、左乳房を左上方から右下方へ押さえ、左乳房を左上方から右下方にかけて固定することにより、左乳房のサイズや形状に関わらず効果的に左乳房の揺れを軽減することができる。また、乳房のサイズが大きい場合に上方へ引き上げるタイプのブラジャーで特に生じ得る左乳房上方における圧迫感が低減されている。また、アジャスター部７Ｂを有することにより、着用者の左乳房のサイズや形状に合わせて第１固定部７の長さを調節し、固定強度を調節することができるため、着用者の左乳房のサイズや形状に合わせて好適に左乳房の揺れ軽減することができる。また、固定強度が強過ぎる際に発生する呼吸機能の阻害や着用の不快感を低減することができる。また、運動強度に合わせて第１固定部７の長さを調節し、固定強度を調節することができるため、運動強度に合わせて好適に左乳房の揺れ軽減することができる。
【００４７】
アジャスター部７Ｂは、ブラジャー１の外面側にあるため、着用者はブラジャー１を着用した状態でも容易に固定強度を調節することができる。
【００４８】
（第２固定部８）
第２固定部８は、本体部２の外面側に位置し、右乳房の脇側及び上側から右乳房を覆い左脇部へと延びる。
【００４９】
第２固定部８は、本体部２の右脇部に接続する。具体的には、第２固定部８の右脇端は、フロント部３とバック部４の右脇サポート部４Ｒとが接続する接続部５１において、本体部２に接続する。第２固定部８は、右肩ストラップ部５Ｒの前端に接続する。具体的には、第２固定部８の上端は、フロント部３と右肩ストラップ部５Ｒとが接続する接続部５５において、右肩ストラップ部５Ｒの前端に接続する。第２固定部８は、左乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で本体部２に接続する。具体的には、図２の例においては、第２固定部８の左脇端は、左脇サポート部４Ｌとバックサポート部４Ａとが接続する接続部

５３において、本体部２に接続する。第２固定部８は、フロント部３の腕ぐりに形成される右腕ぐり部２１Ｒの端と接続してもよいし、接続しなくてもよい。接続しない場合には、着用時に右腕ぐり部２１Ｒにおいて第２固定部８が遊離するため、乳房のサイズが大きい場合に生じ得る圧迫感を低減することができる。これらの接続は、例えば、縫着である。第２固定部８の右脇端、上端、左脇端（及び右腕ぐり端）以外の端辺は、本体部２とは接続しておらず、遊離している。第１固定部７の下端は、フロント部３の下端近傍に位置する。

【００５０】

第１固定部７と第２固定部８とは、一部が重畳しているが、接続しておらず、遊離している。本実施形態では第２固定部８が最外面にある例を示しているが、これに限られず、第１固定部７と第２固定部８のどちらが最外面にあってもよい。

【００５１】

第２固定部８は、図４に示す第１固定部７と同様に、固定本体部８Ａ（図示せず）とアジャスター部（第２アジャスター部）８Ｂ（図示せず）とを有する。アジャスター部８Ｂは、第２固定部８の長さを調節するための部材である。第２固定部８の長さは、例えば、上端から左脇端までの長さである。固定本体部８Ａは右乳房の脇側及び上側に位置し、アジャスター部８Ｂは左脇部側に位置する。

【００５２】

固定本体部８Ａは、幅広の部材で形成され、右乳房を覆う。固定本体部８Ａは、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。固定本体部８Ａの布には、例えば、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。

【００５３】

アジャスター部８Ｂは、例えば、ゴム等のテープ状の長尺部材で形成される。アジャスター部８Ｂは、好ましくは本体部２の中央より左側に位置する。これにより、固定本体部８Ａで右乳房をしっかりと固定しつつ、左脇部付近で長さの調節を行うことができる。なお、アジャスター部８Ｂは、乳房の一部を覆ってもよい。

【００５４】

図５に示す第１固定部７と同様に、固定本体部８Ａとアジャスター部８Ｂとの間にリング部材８１（図示せず）が設けられており、アジャスター部８Ｂの両端の間に調節部材８２が設けられている。アジャスター部８Ｂにおける調節部材８２の位置を着用者が調節することによって、アジャスター部８Ｂの長さを調節することができ、これにより、第２固定部８の長さを調節することができる。

【００５５】

図６に示す第１固定部７と同様に、第２固定部８についても長尺のテープ部材８３（図示せず）が設けられている。

【００５６】

第２固定部８は、右乳房を右下方から左上方へ押さえ、右乳房を右下方から左上方にかけて固定することにより、右乳房のサイズや形状に関わらず効果的に右乳房の揺れを軽減することができる。また、乳房のサイズが大きい場合に上方へ引き上げるタイプのブラジャーで特に生じ得る右乳房上方における圧迫感が低減されている。また、アジャスター部７Ｂを有することにより、着用者の右乳房のサイズや形状に合わせて第２固定部８の長さを調節し、固定強度を調節することができるため、着用者の右乳房のサイズや形状に合わせて好適に右乳房の揺れ軽減することができる。また、固定強度が強過ぎる際に発生する呼吸機能の阻害や着用の不快感を低減することができる。また、運動強度に合わせて第２固定部８の長さを調節し、固定強度を調節することができるため、運動強度に合わせて好適に右乳房の揺れ軽減することができる。

【００５７】

アジャスター部８Ｂは、ブラジャー１の外面側にあるため、着用者はブラジャー１を着用した状態で容易に固定強度を調節することができる。

【００５８】
　また、第１固定部７と第２固定部８とで別々に長さを調節することができるため、左右の乳房のサイズや形状が異なる場合でも、左右それぞれのサイズや形状に合わせて好適に固定強度を調節することができる。
【００５９】
　アジャスター部７Ｂ及びアジャスター部８Ｂを緩めた状態でブラジャー１を着脱することにより、ブラジャー１を楽に着脱することができる。また、アジャスター部７Ｂ及びアジャスター部８Ｂを緩めた状態でブラジャー１を着脱することにより、ブラジャー１の着脱時における第１固定部７及び第２固定部８の伸びを防ぐことができるため、劣化を防ぎ、第１固定部７及び第２固定部８による乳房の揺れの軽減効果を長く維持することができる。
【００６０】
　＜変形例１＞
　図７は、本発明の一実施形態に係る胸部を覆う衣類（ブラジャー１）の一変形例を示す図である。なお、（ｂ）において、背面側から見えるブラジャー１の前面側の構造の図示は省略している。ブラジャー１は、図７に示すように、本体部２と、第１固定部７と、第２固定部８とを備える。
【００６１】
　変形例１の本体部２は、フロント部３と、バック部４と、左右一対の肩ストラップ部５（右肩ストラップ部５Ｒ，左肩ストラップ部５Ｌ）とを有する。フロント部３、バック部４及び右肩ストラップ部５Ｒの腕ぐりにおいて、右腕ぐり部２１Ｒが形成されている。フロント部３、バック部４及び左肩ストラップ部５Ｌの腕ぐりにおいて、左腕ぐり部２１Ｌが形成されている。また、フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌの襟ぐりにおいて、襟ぐり部２２が形成されている。フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌは、後述する接続部５７及び接続部５８を除き、各接続部において互いに縫着されている。
【００６２】
　本変形例１のフロント部３は、図１に示す本実施形態のフロント部３と形状が多少異なるものの、基本的な構成は図１に示す本実施形態のフロント部３と同様である。
【００６３】
　本変形例１のバック部４は、右バック部１０４Ｒと、左バック部１０４Ｌとから構成される。フロント部３と右バック部１０４Ｒとが、接続部５１において接続する。左バック部１０４Ｌとフロント部３とが、接続部５４において接続する。接続部５１及び接続部５４は、乳房の脇側の立ち上がりに対応する位置（脇部の前面端）に配設される。右バック部１０４Ｒ及び左バック部１０４Ｌは、端部に長さ調節機構４１を備える。長さ調節機構４１は、例えば、長さ調節機構６１と同様のものであり、背中心近傍で着脱可能に接続する。右バック部１０４Ｒ及び左バック部１０４Ｌは、表布と裏布から構成されてもよいし、一重の布で構成されてもよい。右バック部１０４Ｒ及び左バック部１０４Ｌの布には、例えば、着用者の幅広いサイズに適用できるように、伸縮して肌にフィットする素材（例えば、ナイロンとポリウレタンの混合素材等）が用いられる。
【００６４】
　本変形例１の肩ストラップ部５は、長さ調節機構１０５Ｒ，１０５Ｌを有するゴム等のテープ状の長尺部材で形成される。右肩ストラップ部５Ｒとフロント部３とが、接続部５５において接続する。左肩ストラップ部５Ｌとフロント部３とが、接続部５６において接続する。右肩ストラップ部５Ｒとバック部４の右バック部１０４Ｒとが、接続部５７においてリング部材を介して接続する。左肩ストラップ部５Ｌとバック部４の左バック部１０４Ｌとが、接続部５８においてリング部材を介して接続する。肩ストラップ部５は、長さ調節機構１０５Ｒ，１０５Ｌにより長さを調節することができる。
【００６５】
　本変形例１の第１固定部７は、本体部２の外面側に位置し、左乳房の脇側及び上側から

左乳房を覆い右脇部へと延びる。第１固定部７は、本体部２の左脇部に接続する。具体的には、第１固定部７の左脇端は、フロント部３と左バック部１０４Ｌとが接続する接続部５４において、本体部２に接続する。第１固定部７は、左肩ストラップ部５Ｌの前端に接続する。具体的には、第１固定部７の上端は、フロント部３と左肩ストラップ部５Ｌとが接続する接続部５６において、左肩ストラップ部５Ｌの前端に接続する。第１固定部７は、右乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で本体部２に接続する。具体的には、図７の例においては、第１固定部７の右脇端は、フロント部３と右バック部１０４Ｒとが接続する接続部５１において、本体部２に接続する。第１固定部７は、フロント部３の腕ぐりに形成される左腕ぐり部２１Ｌの端と接続してもよいし、接続しなくてもよい。これらの接続は、例えば、縫着である。第１固定部７の左脇端、上端、右脇端（及び左腕ぐり端）以外の端辺は、本体部２とは接続しておらず、遊離している。本変形例１の第１固定部７は、アジャスター部は有していない。第１固定部７の布には、例えば、パワーネット等の伸縮性や弾力性に富んだ素材が用いられる。

【００６６】

本変形例１の第２固定部８は、本体部２の外面側に位置し、右乳房の脇側及び上側から右乳房を覆い左脇部へと延びる。第２固定部８は、本体部２の右脇部に接続する。具体的には、第２固定部８の右脇端は、フロント部３と右バック部１０４Ｒとが接続する接続部５１において、本体部２に接続する。第２固定部８は、右肩ストラップ部５Ｒの前端に接続する。具体的には、第２固定部８の上端は、フロント部３と右肩ストラップ部５Ｒとが接続する接続部５５において、右肩ストラップ部５Ｒの前端に接続する。第２固定部８は、左乳房の脇側又はそれよりも背面側の位置で本体部２に接続する。具体的には、図７の例においては、第２固定部８の左脇端は、フロント部３と左バック部１０４Ｌとが接続する接続部５４において、本体部２に接続する。第２固定部８は、フロント部３の腕ぐりに形成される右腕ぐり部２１Ｒの端と接続してもよいし、接続しなくてもよい。これらの接続は、例えば、縫着である。第２固定部８の右脇端、上端、左脇端（及び右腕ぐり端）以外の端辺は、本体部２とは接続しておらず、遊離している。本変形例１の第２固定部８は、アジャスター部は有していない。第２固定部８の布には、例えば、パワーネット等の伸縮性や弾力性に富んだ素材が用いられる。

【００６７】

本変形例１では、第１固定部７及び第２固定部８が長さ調節機構を有していないため、第１固定部７及び第２固定部８がフラットである。そのため、他の衣類と重ね着した場合に構造物が浮き出ず、見栄えが良いというメリットがある。

【００６８】

＜その他の変形例＞

アジャスター部７Ｂは、上記に限らず、第１固定部７の長さを調節できるものであればよく、例えば、ピン、スナップ、面ファスナー、紐、ボタンとボタン穴、ホック等であってもよい。アジャスター部８Ｂも同様である。

【００６９】

第１固定部７は、本体部２に着脱可能に接続するものであってもよい。その場合、第１固定部７は、例えば、ピン、スナップ、面ファスナー、紐、ボタンとボタン穴、ホック等で本体部２に着脱可能に接続する。第２固定部８も同様である。

【００７０】

バック部４の形状は、上記に限定されず、所望の形状であってよい。一例として、図８の（ａ）に示すように、バックサポート部が、交差した２つの別々の布から形成されてもよい。別の一例として、図８の（ｂ）に示すように、バック部４は、左右一対の部材で形成され、背中心近傍で着脱可能に形成されてもよい。

【００７１】

第１固定部７の右端及び第２固定部８の左端の位置は限定されないが、第１固定部７の右端は背中心よりも右側に位置し、第２固定部８の左端は背中心よりも左側に位置することが好ましい。この場合、第１固定部７の右端と第２固定部８の左端とが重ならず、長さ

を調節しやすい。第１固定部７の右端及び第２固定部８の左端の位置は、脇部の背面端より前面側であることがより好ましい。この場合、着用者はブラジャー１を着用した状態で容易に固定強度を調節することができる。

【００７２】

各部材の生地は、上記に限定されず、用途等に応じて適宜選択できる。例えば、バック部４はメッシュ素材を用いる例を示したが、防寒性を高めるために、防寒性の高い厚手の素材とすることもできる。あるいは、水着として用いる場合、撥水性の高い素材とすることもできる。

【００７３】

各部材の接続方法として縫着している例を示したが、これに限らず、例えば、接着材を用いて生地同士を接続してもよい。

【００７４】

フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌのうちの２つ以上が一枚の生地で一体形成されていてもよい。あるいは、フロント部３、バック部４、右肩ストラップ部５Ｒ及び左肩ストラップ部５Ｌは、それぞれにおいて、複数の別体の生地から形成されてもよい。各生地がどのように設けられるかという具体的構造と、本発明における本体部の構成要素であるフロント部、バック部、右肩ストラップ部及び左肩ストラップ部とは、異なる概念である。フロント部、バック部、右肩ストラップ部及び左肩ストラップ部は、着用者の上半身のどの部分を覆うかという位置関係に基づいて定められる。第１固定部及び第２固定部も同様に、本体部の構成要素と一枚の生地で一体形成されていてもよい。あるいは、第１固定部及び第２固定部は、それぞれにおいて、複数の別体の生地から形成されてもよい。

【００７５】

本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、請求項に示した範囲で種々の変更が可能であり、それぞれ開示された技術的手段を適宜組み合わせて得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。

【符号の説明】

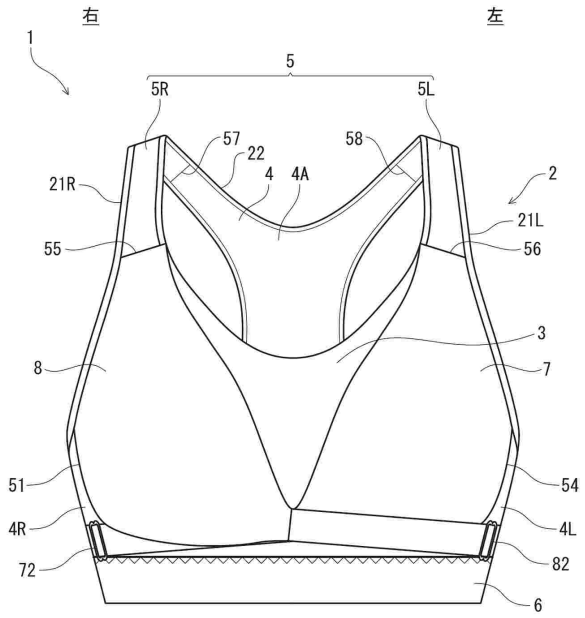
【００７６】

１　ブラジャー（胸部を覆う衣類）
２　本体部
３　フロント部
４　バック部
４Ｒ　右脇サポート部
４Ｌ　左脇サポート部
４Ａ　バックサポート部
５　肩ストラップ部
５Ｒ　右肩ストラップ部
５Ｌ　左肩ストラップ部
６　下辺ゴム部
７　第１固定部
７Ａ　固定本体部
７Ｂ　アジャスター部（第１アジャスター部）
８　第２固定部
８Ａ　固定本体部
８Ｂ　アジャスター部（第２アジャスター部）
２１Ｒ　右腕ぐり部
２１Ｌ　左腕ぐり部
２２　襟ぐり部
２３　切欠き部
３１　カップ部

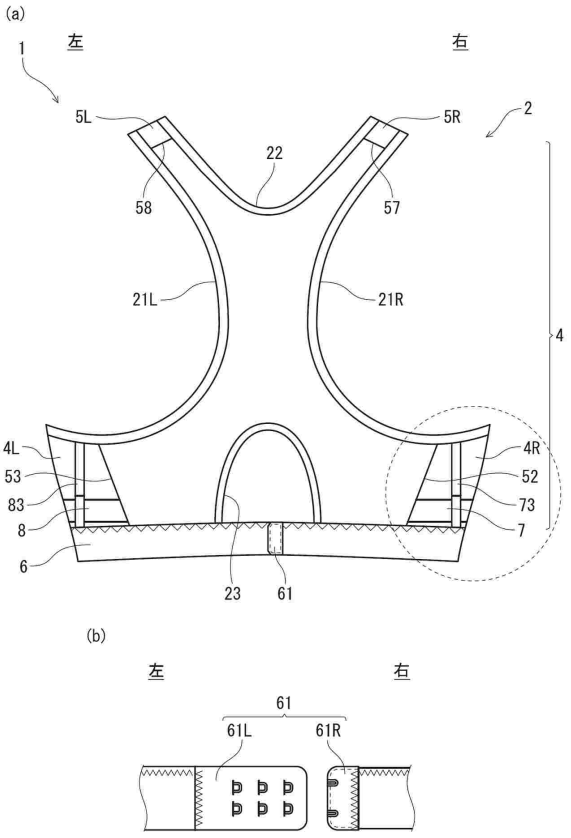
３１Ｒ　右カップ部
３１Ｌ　左カップ部
４１　　長さ調節機構
５１～５８　接続部
６１　　長さ調節機構
６１Ｒ　右端部
６１Ｌ　左端部
７１　　リング部材
７２　　調節部材
７３　　テープ部材
７３Ａ　縫着部
７３Ｂ　遊離部
１０４Ｒ　右バック部
１０４Ｌ　左バック部
１０５Ｒ　長さ調節機構
１０５Ｌ　長さ調節機構

【図面】

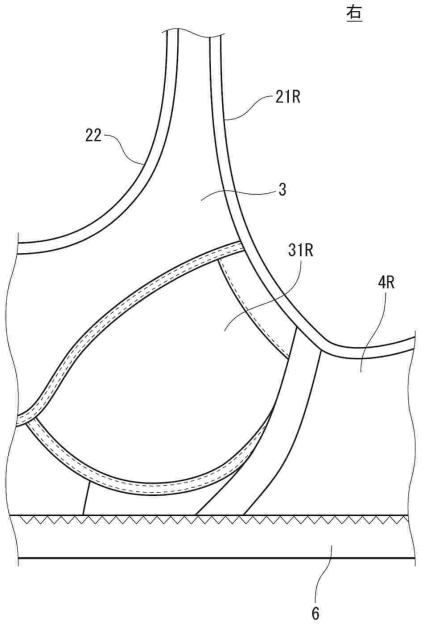
【図１】



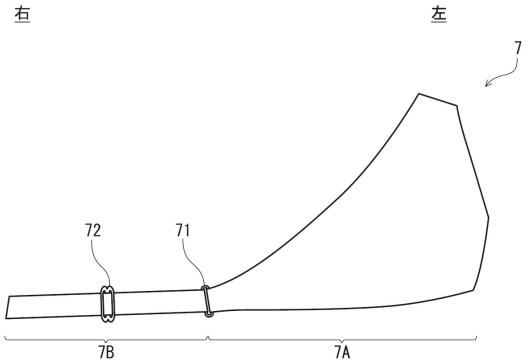
【図２】



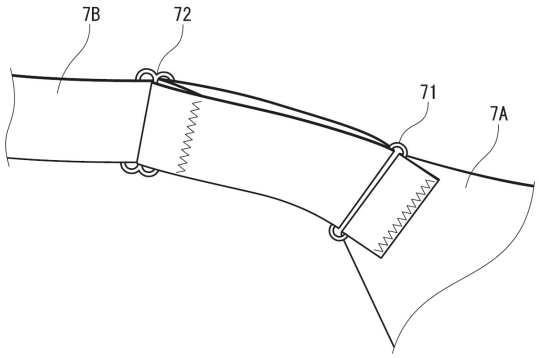
【図３】



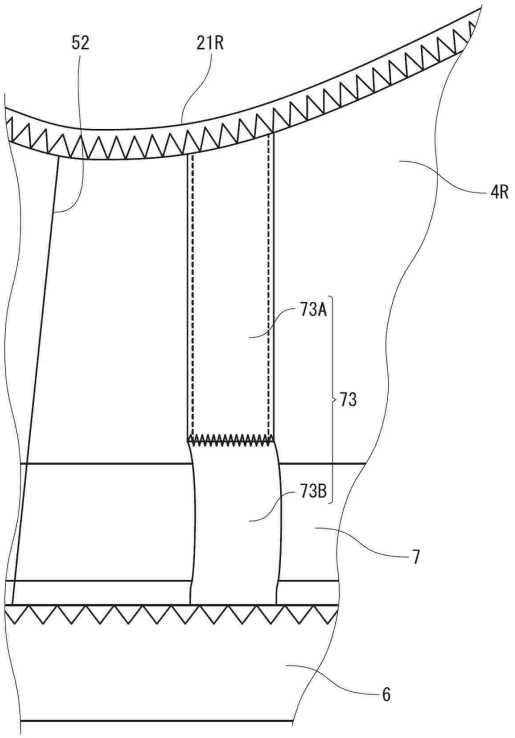
【図４】



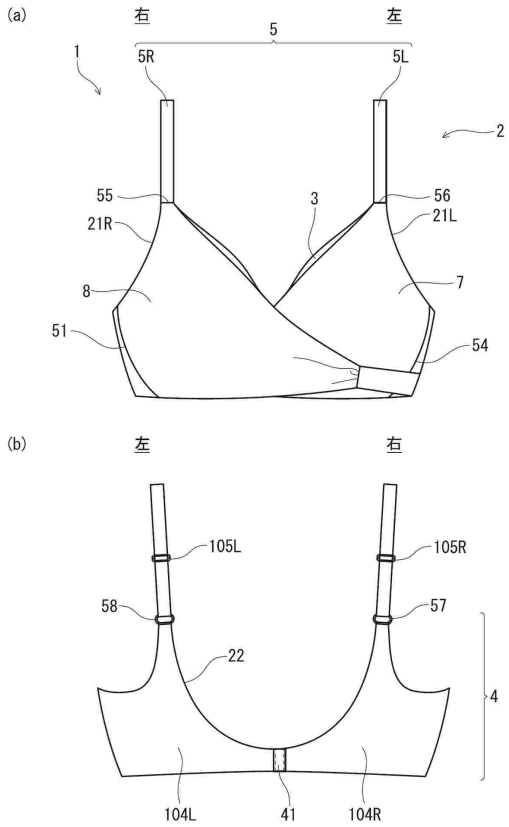
【図５】



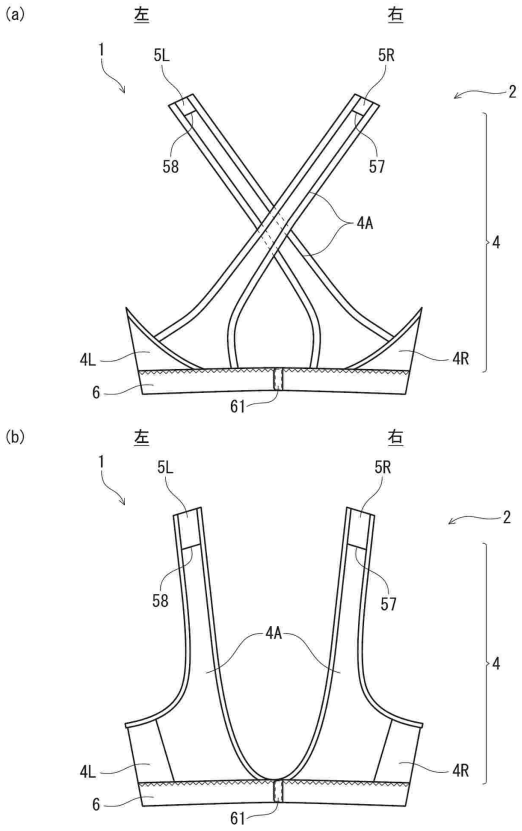
【図６】



【図７】


(a)
右
左
5
1
5R
5L
2
55
3
56
21R
21L
8
7
51
54
(b)
左
右
105L
105R
58
57
22
4
104L
41
104R

【図８】


(a)
左
右
1
5L
5R
2
58
57
4A
4
4L
4R
6
61
(b)
左
右
1
5L
5R
2
58
57
4A
4
4L
4R
6
61

フロントページの続き

ーラボ株式会社内

合議体

審判長　金丸 治之

審判官　神山 茂樹

審判官　田口 傑

(56)参考文献　中国実用新案公告第２０１７００４１３（ＣＮ，Ｕ）
特開２０２０－８４３６３（ＪＰ，Ａ）
実開昭５９－２８３０８（ＪＰ，Ｕ）
国際公開第２０２０／２３０２８７号（ＷＯ，Ａ１）
特許第５１８０３９０（ＪＰ，Ｂ１）
国際公開第２０１８／１６８８７５（ＷＯ，Ａ１）

(58)調査した分野　(Int.Cl.，ＤＢ名)
A41C 3/00-3/12